

シャンカラの集大成 本邦初の翻訳



完訳「ヴィヴェーカ・チューダーマニ」



訳・注解 美莉亜

「この恐ろしき
サンサーラの海を
私はいかにして渡れば
よいのでしょうか？」

このような弟子の問いに
導師は語り始めた。

「何も恐れることはないのだ
さあ、聞きなさい」と。

シャンカラ

不二一元論を唱えた聖者。
南インドに生まれて、その
後、ウパニシャッドの解説書
など、多くの著作を著す。イン
ド全土を巡ってサナータナ
・ダルマの復権に努め、32歳
頃にヒマラヤ地方で没したと
伝えられる。

美莉亜 詩人

その他著作



ミラバイ訳詩集
バーガヴァタ・プラーナ
(全三巻)

本書は、インド最大の哲学者と称される、アーディ・シャンカラ・チャーリヤの著作、「ヴィヴェーカ・チューダーマニ」の、サンスクリット語からの直接の翻訳、およびそれへの注解である。この文献はウパニシャッドの精髓とみなされており、その中では導師と弟子との対話という形で、580もの美しい詩句を通して、アートマンとブラフマンとの合一、つまり梵我一如について、明快に説明されていく。今回、その内容を、インド最高聖典であるバガヴァット・ギーター、および堀田和成氏の説く「正道」から、解明せんと試みたものである。

発売日 平成26年12月2日 A5判 上製本 544頁 価格 ¥2,200+税